

2024 年度事業報告

公益財団法人滋賀県国際協会

I 事業概要

当協会は、滋賀県における国際交流活動を推進する中核的な団体として幅広い国際交流事業を展開している。2021 年度から第3期中期計画に基づき、「国際感覚に優れたひとづくり」「多文化共生の地域づくり」「ボランティア、市民活動団体の活動促進」「情報収集・提供による環境づくり」「協会の基盤整備」の5本を柱として事業を実施している。

今年度はコロナ禍を経て、6年ぶりにミシガン州友好親善使節団の派遣を再開した。次世代人材育成事業連続セミナーはじめ、国際教育研修、進路ガイダンス、防災啓発事業なども計画どおり実施した。

また、ウクライナ避難民の滋賀県での生活のサポートを継続して行う等、外国人県民等が地域の一員として安心して生活できる多文化共生社会づくりに取り組んだ。

II 事業実績

〔自主〕：自主事業、〔助成〕：助成事業、〔補助〕：補助事業、〔委託〕：委託事業

《 国際感覚に優れたひとづくり 》

1 国際教育啓発事業

(1) 国際教育・開発教育の普及（オリジナル開発教材の普及）〔自主〕

① オリジナル開発教材の普及

独自に開発した国際教育教材の普及を図るため、ワークショップの開催や師派遣による実演、教材の貸出、販売等を行った。

- 「ブラジルボックス」 貸出件数： 8 件
- 「非識字体験ゲーム」ここは、何色？ 販売件数：50 セット
- 「言葉がわからない」体験ゲーム震災編 販売数：23 セット
- 「わたしん家の食事からカードゲーム版」 貸出件数： 1 件
販売件数：23 セット

② オリジナル開発教材普及促進のための講師派遣

オリジナル開発教材を活用した授業・研修等に対して講師を派遣し、持続可能な社会づくりに向けて実際に行動できる人材の育成に努めた。

派遣数：11 件

③ 国際教育教材体験フェア in 滋賀 2024 の開催（共催：JICA 関西）

開催日：8月2日（金）

会場：ピアザ淡海（大津市）

参加者：46 人

内容：分科会1「子ども兵士の現在(いま)～わたしたちにできること～」

分科会2「“情報弱者”とは何かを考える～ごみの分別ワークを通して～」

分科会3「世界に目を向けよう～地球市民の一員として～」

分科会4「多文化保育～外国にルーツのある子どもとその親の困りごとを考える～『読めないお知らせ』～」

④ 国際教育教材の貸出

所蔵数：722冊／点

貸出件数：14件、貸出点数 延べ59点（オリジナル教材を除く）

(2) 国際教育の研究 [自主]

国際教育研究会「^{ぐろーかる}Glocal net ^{ねっと}Shiga^{しが}」による研究

研究会開催回数：12回、参加者：延べ150人（開催日：参加者）

4/21：19人 5/19：15人 6/23：18人 7/27：14人

8/2：11人 9/21：6人 10/19：5人 11/24：9人

12/22：19人 1/11：9人 2/15：11人 3/16：14人

(3) 国際教育の担い手の育成 [助成] [自主]

① 次世代人材育成事業『多文化共生 × SDGs × 開発教育』

若者を対象に座学（ワークショップでの疑似体験や講義）と直接触れる体験（フィールドワーク）を組み合わせた連続セミナーを実施。また、過年度修了生、今年度受講生および Glocal net Shiga メンバーとの交流促進のため、オプショナル企画も実施。海外と繋がりのある人材と共に参加するプログラムを開催。過去修了生がセミナーの一部でファシリテーターを務めた。

【開催回数：連続セミナー6回およびオプショナル企画（OP）5回】

第1回 7/21（日） 「参加者同士の新たな出会い」

OP① 7/28（日） オンライン事前レク「日本ラチーノ学院について」

第2回 8/6（火） 「ブラジル人学校の生徒との出会い」

OP② 9/14（土） 学習支援教室訪問

第3回 9/28（土） 「日本で子育てする外国人保護者との出会い」

第4回 10/19（土） 「さまざまな宗教との出会い 神戸スタディツアー」

OP③ 11/10（日） 県内モスク訪問

第5回 11/16（土） 「日本に根付く朝鮮半島の歴史と今との出会い」

第6回 12/14（土） 多文化共生講演会および受講生による発表会

講師：脇田 哲志さん（元 NHK アメリカ総局長）

受講者数：21人（うち、18人修了）

サポーター：16人（うち、昨年度受講生6人）

ルーツのある国：日本、ブラジル、中国、インドネシア、アメリカ

実績報告書の発行（2月）

② ファシリテーター養成講座の開催 （共催：JICA 関西）

国際教育ワークショップ 地球市民を地域とともに育てよう Part 23

テーマ：「日常に埋め込まれた差別に気づく～マイクロアグレッションについて～」

講 師：北川 知子さん

(特定非営利活動法人とんだばやし国際交流協会 理事長)

開催日：1月11日(土)

会 場：ピアザ淡海(大津市)

参加者：27人

③ 国際教育の相談対応・出張講座のコーディネート

ア. 国際教育講師紹介、教材・授業案に関する相談対応：71件

イ. 講師派遣数：28件(オリジナル開発教材講師派遣数含む)

ウ. 講師(国際協会職員)派遣等

・ 5/10	京都府私立中学・高等学校家庭科研究会 春季総会並びに研修会	受講者	11人
・ 5/16	滋賀県人権センター 相談員研修	受講者	11人
・ 5/28	全国市町村国際文化研修所(JIAM) 「自治体外国人施策の実務～第一線で 対応する方のために～」研修	受講者	42人
・ 6/13-14	(一財)自治体国際化協会(CLAIR) 体験塾 in 滋賀	受講者	14人
・ 7/ 1	日吉中学校 第2学年 国際理解学習	参加者	253人
・ 7/18	甲賀市立土山中学校 PTA 親子人権セミナー	参加者	233人
・ 7/24	大津夜まわりの会 夏休み大津子ども ひまわりの家	参加者	23人
・ 7/31	大津市教科等領域別研究会 国際教育 部会研修講座(教員研修)	受講者	23人
・ 7/31	皇子山中学校区人権部会研修	受講者	17人
・ 8/ 9	長浜農業高校 教員人権研修	受講者	37人
・ 9/ 7	滋賀県じんけんミニフェスタ(彦根) ブース出展「ここは、何色？」	参加者	102人
・ 9/25	国際情報高校 第2学年 人権学習	参加者	239人
・ 9/28	滋賀県じんけんミニフェスタ(大津) ブース出展「世界一周ゲーム」	参加者	70人
・ 11/9	甲賀市立甲南第3小学校 親子防災学習	参加者	80人
・ 11/25	大津市立仰木中学校 第3学年	参加者	180人
・ 11/28	大津市立堅田小学校 第5学年	参加者	173人
・ 12/ 4	日野町立西大路小学校 第3～6学年	参加者	55人
・ 12/ 8	滋賀県じんけんわくわく冬まつり ブース出展(米原)	参加者	78人
・ 12/16	甲賀市立貴生川小学校 第4学年	参加者	76人
・ 12/18	能登川高校 第3学年	参加者	115人
・ 12/18	能登川高校 第2学年	参加者	116人
・ 1/17	彦根市立河瀬小学校 第4学年	参加者	94人

- ・ 1/22 彦根市立鳥居本小学校 親子人権学習 参加者 110 人
- ・ 2/13 守山市立守山中学校 第1学年 参加者 239 人
- ・ 2/6・7 大津商業高校 来所者 10 人
第1学年探求フィールドワーク受入
- ・ 3/10 長浜北高校 第1・2学年 参加者 468 人
- ・ 3/12 東大津高校 第1学年 参加者 361 人

エ. 国際教育協働推進事業報告書発行 3月

オ. 委員・アドバイス等

- 認定 NPO 法人開発教育協会 関西ブロック運営委員会委員
同機関誌「DEAR News 219号 各地から」寄稿
- 「地域学習支援論」(発行(株)大学教育出版)第Ⅲ部第6講「外国ルーツの子ども・若者たちの明るい将来ビジョンをどう育むか?」執筆
- 東大津高校学校運営協議会委員 会議出席 10/4、2/21
- 同志社女子大学表象文化学部 崎准教授への調査協力

④ 「国際教育」に関する教員研修への参画

滋賀県総合教育センターより依頼を受け、教員対象研修を担当した。

- 滋賀県総合教育センター 自己啓発研修(選択研修)「国際理解」
開催日：8月2日(金) ※全教員対象 [再掲]
会 場：ピアザ淡海(大津市)
受講者：28人(国際教育教材体験フェア参加者)
- 滋賀県生涯学習課「シン・学校支援メニューフェア」ブース出展
開催日：8月21日(水)
会 場：ピアザ淡海(大津市)
受講者：110人

2 国際交流推進事業

(1) 国際交流・協カライブチャンネルの開催 [自主]

JICA 関係者等と当協会をオンラインでつなぎ、交流や情報交換をライブ配信で行い、身近に国際交流を体験できる機会を提供し、国際交流・協力の裾野を広げた。

実施方法：オンライン Zoom

[第7回：ガボン編] (協カ：JICA 関西)

テーマ：「ガボンの魅力に迫る!～エコツーリズムの視点から～」

中継先：JICA ガボン支所 企画調査員

開催日：10月5日(土)

参加者：26人

[第8回：オーストリア編] (後援：滋賀県)

テーマ：「“食”で知るオーストリア」

中継先：オーストリアの日本食普及の親善大使

開催日：3月2日(日)

参加者：20人

(2) ミシガン州立大学連合日本センター（JCMU）の管理運営【委託】

① 施設の維持管理

施設利用者の安全確保や施設の長寿命化のため、必要に応じて外部に業務を再委託し、各種法令に基づく定期点検や調査を実施するなど、施設の適切な維持管理に努めた。

② 県民および国内向けプログラム等の運営推進

ア. 英語プログラム、英語研修等

JCMU が実施する各種英語講座について、プログラムの企画、受講を促すための広報啓発活動、関係機関との連絡調整、受講者の事務手続きや相談対応等を行った。

また、高校や大学の英語講座および JCMU 留学生との交流会の開催支援を行った。

【英語プログラム】

プログラム名	開講期間	受講者数（人）
英語プログラム	春季 4/2-6/15	83（内近江八幡教室 12）
	夏季 6/25-9/21	83（内近江八幡教室 15）
	秋季 10/1-12/14	74（内近江八幡教室 13）
	冬季 1/9-3/8	66（内近江八幡教室 10）
こども英語教室	通年 4/2-3/15	49
国内留学プログラム	秋季 9/4-15	14
	春季 A 3/4-15	7
	春季 B	10
英語プライベートレッスン		1
英語プライベートレッスン（オンライン）		1
計		388 人

【英語研修】

講座・研修名	開催日	受講者数
水口東中学校・高等学校一日語学研修	6/22	18 人 （留学生 15 人）
京都女子大学国内英語研修	9/4-9/11	9 人

イ. 公開講座・交流会の開催

地域社会の国際化と国際理解および国際交流を目的とし、公開講座を開催した。

○ 第 120 回公開講座「English Cafe」

講 師：JCMU Janeth 教官・Stephen 教官

開催日：5 月 17 日（金）

受講者：28 人（内 JCMU 学生 8 人）

内 容：JCMU 留学生との英語コミュニケーション体験

○ 第 121 回公開講座「Goodwill Mission Reunion」

発表者：松原 勇太さん（滋賀県国際課 元ミシガン州経済交流駐在員）

使節団参加者 3 人、JCMU 学生 6 人

開催日：3 月 9 日（日）

参加者：49 人（内留学生 12 人）

内 容：駐在員の活動紹介ミシガン州の話題提供

使節団参加報告

JCMU 学生によるミシガン州の紹介、交流会

ウ. 地域国際交流事業支援等

・ 8/8 JCMU Summer Games

・ 10/15 彦根商工会議所青年部『TAKIBI TALK』

・ 10/25 JCMU ハロウィン交流祭（第 1 部こども・第 2 部大人）

・ 11/ 6 第 33 回ミシガンカップ滋賀県高校生英語スピーチコンテスト

エ. 週末ホームステイの実施

JCMU 留学生が、日本の家庭生活を体験できるよう、金曜日の夕方から日曜日までの週末を利用した短期間のホームステイを年間 3 回実施した。

また、ホームステイの受入れ希望者の面談を随時行い、新たに 20 家庭のホストファミリー登録に至った。

実施日	参加学生	ホストファミリー
7/ 5- 7	8 人	8 家庭 37 人
10/18-20	4 人	4 家庭 17 人
3/28-30	9 人	9 家庭 36 人
合 計	21 人	21 家庭 90 人

オ. JCMU 留学生と県民との交流の推進

県民と JCMU 留学生との交流により、地域の国際化や活性化を推進し、また JCMU 留学生の日本文化や地域文化等への興味や理解を促した。

実施日	内 容	会場	参加学生数
10/15	彦根商工会議所青年部令和 6 年 10 月度 例会「TAKIBI TALK」（再掲）	護国神社	14 人
11/15	彦根市観光協会船頭体験 PR モデル 彦根東高等学校課題研究	玄宮園	1 人
2/3	「留学生と日本人の意識の差」について のアンケート	—	—
3/10	彦根市観光協会甲冑体験 PR モデル	市内料亭	1 人
3/10	人権福祉交流会館小学生英語教室交流会	人権福祉交流 会館	3 人
計			19 人

③ 大学をはじめとした教育機関との連絡調整

各教育機関のニーズに合わせて、英語教官を派遣し講義等を行った。

【講師派遣】

学校名（学部名）	科目名	派遣講師	開講期間・日
聖泉大学（人間学部）	Communication English A	1 人	前期
聖泉大学（人間学部）	Communication English A	1 人	後期
聖泉大学（看護学部）	Communication English	1 人	後期
彦根工業高等学校	Progress English	1 人	9/30-2/10 （全 10 回）
虎姫高等学校	究理Ⅲ英語ポスター発表会 審査員	2 人	7/22
米原市教育委員会	米原市 English Oratorical Performance Meet	1 人	8/20

④ 広報、啓発活動の推進

JCMU ホームページのリニューアルや SNS の活用により発信力を高め、JCMU の日本語・日本文化／社会プログラムの学生の様子や地域との国際交流活動および英語プログラムの広報を行い、認知度が高まるよう支援した。

⑤ センター教職員、学生の生活アドバイス

施設居住者等の安全を確保するため、留学生を対象に防火対策、地震や火災時の対応などについて情報提供し、いざという時の対応について周知した。

また、彦根消防署北分署の協力のもと、防火・防災訓練を JCMU の 5 月プログラム、秋学期の開講に合わせて 2 回実施した。（春学期は降雪のため中止）

⑥ その他運営推進に関する業務

県執行のエレベーター更新工事、センター棟屋根その他長寿命化工事、照明 LED 化工事が滞りなく進捗するよう、各種調整を実施した。

（3）ミシガン州友好親善使節団の派遣

派遣期間 9 月 5 日（木）～12 日（木）
6 泊 8 日（うちホームステイ 4 泊 5 日）

派遣人員 49 人

[ホームステイ滞在都市]

ランシング市	15 人	アナーバー市	5 人	グランドラピッズ市	5 人
ポンティアック市	6 人	エイドリアン市	4 人	デウィット市	2 人
マーシャル市	4 人	トラバースシティー市	3 人	クリントンタウンシップ	1 人
ペトスキー市	3 人	その他	1 人		

（4）姉妹友好州省等交流代表団の受入等 [委託]

① 姉妹友好州省等交流代表団の受入等

ア 湖南省副省長一行の受入

受入人員 20 人

受入期間 5 月 30 日（木）～31 日（金）

イ 湖南省政府代表団の受入

受入人員 5 人

受入期間 9月7日(土)

ウ リオグランデスール州(RS州)知事一行の受入

受入人員 20人

受入期間 11月18日(月)

エ ベトナム総領事訪問団の受入

受入人員 4人

受入期間 2月14日(金)

② ブラジル・リオグランデスール州洪水被害支援金の募集

受付期間：2024年7月26日(金)～2025年3月31日(月)

募金収集方法：募金箱の設置(滋賀県庁、ピアザ淡海、文化産業交流会館)
および専用口座への振込み

募金総額 1,133,588円(口座の受取利息335円含む)

2025年4月15日付で支援金1,123,588円(送金手数料10,000円を除く)をRS州政府へ送金。

【参考】11月18日三日月知事よりレイテRS州知事へ洪水被害支援金の目録贈呈。

3 国際協力促進事業

(1) JICAとの連携による国際協力促進

独立行政法人国際協力機構 JICA 関西から駐在(1人)

JICA 国際協力推進員と連携し、国際協力に関する情報発信、相談業務等を行った。

(2) 国際交流・協力ライブチャンネル [再掲]

10月5日(土) 第7回：ガボン編 参加者 26人

(3) 身近な国際協力の促進

国際協力BOXを設置し、外国コインや使用済み切手、書き損じはがきなどを収集し、国際協力機関へ送付した。

《 多文化共生の地域づくり 》

1 外国人住民への支援

(1) しが外国人相談センターの設置 [補助]

① 相談窓口状況

○ 相談件数：1,274件(前年度1,499件、対前年度比84.9%)

○ 相談内容：

入管	126件	雇用・労働	178件	社会保険・年金	95件
税金	80件	医療	117件	出産・子育て	68件
教育	88件	日本語学習	19件	防災・災害	0件
住宅	74件	身分関係	54件	交通・運転免許	33件
通訳・翻訳	30件	その他	312件		

- 協力：外国人のための合同専門相談会（主催：大阪出入国在留管理局）
予約・相談ブース設置協力

開催日：12月5日（木）

会 場：大津びわ湖合同庁舎（大津市）

内 容：出入国・在留、人権、生活、労働等の専門家による相談会

相談件数：24件（うち当センター対応相談件数 2件）

② 法律相談の実施（協定：滋賀弁護士会）

相談件数：9件（前年度 9件）

③ 在留資格出張相談会の開催（進路ガイダンス同時開催）

開催日：10月27日（日）

会 場：滋賀県立男女共同参画センター G-NET しが（近江八幡市）

相談対応：大阪出入国在留管理局職員

相談件数：7件

④ 外国人相談員等研修会、連絡会議の開催 [補助]

ア. 研修会

[第1回研修会]（共催：滋賀県）

テーマ：近年の入管法改正について

会 場：ピアザ淡海（大津市）

講 師：大阪出入国在留管理局 職員

開催日：1月24日（金）

参加者：45人

[第2回研修会]

テーマ：障害支援の基本

講 師：大平 眞太郎さん（滋賀県障害者自立支援協議会 事務局長）

開催日：3月11日（火）

会 場：ピアザ淡海（大津市）

参加者：17人

イ. 連絡会議

[第1回連絡会議] 開催日：1月24日（金） 参加者：13人

[第2回連絡会議] 開催日：3月11日（火） 参加者：15人

(2) 多言語による情報発信 [補助] [自主]

① 外国人向け情報紙「みみタロウ」の発行

発行回数：年4回（No.151～No.154）

発行部数：計20,000部／回

（内訳） 日：3,000部、英：2,200部、ポ：4,000部、ス：2,000部、

ハ：1,100部、中：2,000部、台：1,000部、タ：1,900部

ベ：1,600部、イ：1,200部

② ホームページおよびSNSによる生活情報等の発信

県内に在住する外国人県民等が必要とする生活情報等を、ホームページの

生活Q & Aをはじめとするツールを使用し、11 言語での情報提供を行った。

(3) 滋賀県在住のウクライナ避難民への支援

① しがウクライナ避難民応援支援金の募集

- 受付期間：2022 年 3 月 22 日（火）～2025 年 3 月 28 日（金）
- 募金収集方法：募金箱の設置
(滋賀県庁、ピアザ淡海、滋賀県立文化産業交流会館)
専用口座への振込み
- 募金総額：16,853,863 円（3 月 31 日現在）
【内訳】法人 56 件 11,000,638 円
個人 139 件 4,138,667 円
募金箱 1,714,558 円

② しがウクライナ避難民への支援について

- 受入れ状況 13 組 19 人（2025 年 4 月 1 日現在）
- 支援状況
滋賀県と「しが外国籍住民支援ネットワーク」（事務局：多文化共生支援センター）との三者で避難民居住の地元自治体や関連団体、ウクライナ避難民の身元保証人の方々と連携、協力し、滋賀県に避難されてきたウクライナの方々への支援を実施した。

【支援内容】

日常生活のサポート、各種手続きの補助、生活支援金の支給、言葉のサポート、医療、就労・就学支援、日本語教育支援（子どもの日本語学習を含む）等

【支給実績】（3 月 31 日現在）

生活支援金 11,700,000 円
住宅環境整備支援金 3,900,000 円
その他 307,368 円

※財源：「しがウクライナ避難民応援支援金」

(4) 外国にルーツを持つ子どもへの教育支援

① 外国にルーツを持つ児童生徒と保護者のための「進路ガイダンス」の開催

開催日：10 月 27 日（日） [自主]
会 場：滋賀県立男女共同参画センター G-NET しが（近江八幡市）
参加者：33 人（8 か国 15 組）
外国にルーツを持つ児童生徒 12 人
保護者 15 人、引率・見学者 6 人

※在留資格出張相談会同時開催

② 外国にルーツを持つ子どもへの日本語指導者養成講座 Part 16 [自主]

テーマ：「外国にルーツを持つ子どもへの指導・支援 ～教科と日本語の統合学習の授業づくり～」

講 師：横溝 亮さん

(横浜市教育委員会事務局学校教育企画部小中学校企画課 指導主事)

開催日：8月22日(金)

会 場：ピアザ淡海(大津市)

受講者：41人

* 文部科学省外国人児童生徒アドバイザー派遣制度利用(協力：滋賀県)

* 滋賀県教育委員会、外国人児童生徒教育担当者配置校連絡協議会連携研修

③ その他

- 滋賀県教育委員会「帰国・外国人児童生徒教育指導連絡協議会」資料提供(6/13)
- 甲賀市教育委員会主催「進路ガイダンス」進路資料提供(10/13)
- 草津市教育委員会事務局主催「進路説明会」開催協力等(11/15)
- 湖南市教育委員会事務局主催「外国人生徒交流会」協力(11/25)
- 日本語学校 京都あすかアカデミアからの特待生枠(1人)提供あり

(5) 災害時の外国人県民等支援

① 「災害時における外国人県民等支援に関する協定書」にもとづく予防活動の実施

ア. 令和6年度滋賀県総合防災訓練(彦根市総合防災訓練)への参加

開催日：10月20日(日)

会 場：彦根港

内 容：多言語通訳アプリの体験、やさしい日本語でのコミュニケーション支援、多言語非常持出袋の展示等

イ. 令和6年度大津市総合防災訓練への参加

開催日：11月10日(日)

会 場：小野小学校を主会場とした小野学区全域

内 容：避難所受付での外国人被災者対応訓練、多言語通訳アプリの体験、やさしい日本語でのコミュニケーション支援、多言語非常持出袋の展示等

他の訓練参加機関：大津市観光振興課 MICE 推進室、滋賀県国際課

② 災害時外国人サポーター登録および研修

ア. 災害時外国人サポーター登録 登録者数：146人(16言語に対応)

イ. 災害時外国人サポーター研修

「災害時外国人サポーター養成講座」(共催：滋賀県)

2月21日(金)「災害時外国人支援の「これまで」と「これから」」

参加者 32人

* 「滋賀県国際交流推進協議会全体研修会」、「国際交流活動推進セミナー」と共催

③ 多言語非常持出袋、防災多言語資料の普及啓発

県内警察署による外国人県民等向け安全教室、県内交流イベントや防災啓発事業への多言語防災資料提供

・提供件数および配布部数：27件 1,202部

④ 消防職員対象 緊急時外国人対応に関する研修会への講師派遣等

〔初任教育研修〕 開催日： 7 月 11 日（木） 受講者：72 人

〔初級幹部科研修〕 開催日：10 月 25 日（金） 受講者：14 人

⑤ 近畿地域国際化協会連絡協議会 災害時外国人支援研究会への参加

近畿の地域国際化協会で構成する「災害時の外国人支援に関するネットワーク近畿ブロック研究会」の一員として同研究会の研修会や訓練に参加し、予防対策と発災後対応（応急対策）の両面での広域的な支援体制づくりを行った。

【総 会】 8 月 8 日（金）

【分科会】 1 月 31 日（金）

【研究会】 4 回（6/7、9/12、12/13、2/14）

【共催研修等への参加】 ※協会職員および災害時外国人サポーターが参加

・ 6/22	kokoka（京都市）防災訓練	参加者	2 人
・ 9/26	大阪府国際交流財団 コーディネーター研修	参加者	1 人
・ 10/4	京都府国際センター 能登半島地震外国人支援研修	参加者	2 人
・ 11/10	近畿ブロック緊急時連絡網訓練	参加者	3 人
・ 12/19	和歌山県災害時多言語支援センター設置運営訓練	参加者	3 人
・ 3/3	京都府災害多言語支援センター設置・運営訓練	参加者	1 人

⑥ 委員、アドバイス等

- 日野町国際親善協会総会へ講師派遣（5/25）
- 大津市地域女性団体連合防災研修へ講師派遣（7/31）
- 滋賀県災害時ボランティアネットワーク会議／要配慮者支援ネットワーク委員（事務局：滋賀県社会福祉協議会）訓練参加（10/24）
- 滋賀県防災会議委員・滋賀県国民保護協議会委員

（6）その他の外国人支援 【自主】

① 日本語教育の支援

ア. 日本語ボランティア交流会（共催：びわこ日本語ネットワーク）

ファシリテーター：光田 展子（当協会 主幹）

開催日：2 月 24 日（月・祝）

会 場：平和書店 アル・プラザ彦根店（彦根市）

参加者：23 人

イ. その他

- 日本語教室「オリーブ」（草津市）30 周年記念事業への協力および記念式典への参加

② 県内日本語教室等の情報提供

外国人向け情報紙およびホームページで県内日本語教室および外国人相談窓口情報の提供を行った。

③ 日本語教材・ブラジル教科書・関連図書の貸出

日本語指導教材蔵書数：340 冊 貸出数： 1 件 1 点

ブラジル教科書蔵書数： 51 冊

④ 多言語情報の提供等

多文化共生学校づくり支援サイト、多言語防災情報〔再掲〕、外国語が通じる病院の情報提供、多言語子育て情報サイト、生活 Q & A 等で随時情報を提供した。

(7) 留学生への奨学金の支給 〔自主〕

○ 留学生 支給額：月額 20,000 円

支給人員：10 人（申請 19 人）

【びわこ奨学金授与式】

開催日：6 月 26 日（水）

会 場：ピアザ淡海（大津市）

参加者：奨学生 8 人および引率者（大学担当者）3 人

2 多文化共生によるまちづくり

(1) 多文化共生に関する情報提供やアドバイス等 〔自主〕

① 外国人住民支援・多文化共生に関する相談対応：115 件

② 委員、アドバイス等

- 滋賀県多文化共生推進プラン（第 3 次改訂）検討懇話会委員および協力
- 令和 6 年度滋賀県 DV 防止対策・困難女性支援調整会議メンバー
- 長浜市多文化共生・国際化のまちづくり市民会議委員
- 公益社団法人滋賀県人権教育研究会理事
- 湖南市における夜間学級の有識者等会議委員
- 滋賀県外国人材活躍支援会議メンバー
- ・ 滋賀県地域日本語教育推進事業への協力（広報、会議等）
- ・ 滋賀県介護職員人材育成事業外国人（湖南地域）外国人介護職員養成研修広報協力

③ 講師等（国際協会職員）派遣等

・ 4/20	栗東市国際交流協会講演会	受講者	15 人
・ 4/22	湖北地域職業対策連絡協議会会員研修	受講者	40 人
・ 5/14	JICA 国際協力推進員（外国人材・共生）訪問受入	来所者	1 人
・ 6/ 6	立命館守山高校 2 年生インタビュー受入	来所者	3 人
・ 6/27	立命館守山高校 3 年生インタビュー受入	来所者	1 人
・ 7/19	滋賀県立守山中学校 3 年生フィールドワーク受入	来所者	5 人
・ 9/13	東近江市立玉緒小学校「アミーゴ教室」（保護者会）	受講者	10 人
10/4	立命館大学情報理工学部村上ゼミ訪問受入	来所者	13 人
・ 10/15	滋賀県警察本部警察安全相談専科	受講者	11 人
・ 12/8	県民のつどい「地域からの発信」出演 （主催：滋賀県人権センター）	参加者	約 1200 人
・ 12/10	第 3 回長浜市じんけん連続講座	受講者	78 人
・ 12/20	滋賀県レイカディア大学「楽しく豊かに生きるための基礎講座」（草津市）	受講者	278 人

- ・ 2/13 滋賀県レイカディア大学「楽しく豊かに生きるための基礎講座」（彦根市） 受講者 58 人
- ・ 3/17 令和6年度 外国につながるダイレクトの子どもたちへの学習・進路支援 情報・意見交換会事例報告（京都） 参加者 33 人

《 情報収集・提供による環境づくり 》

1 情報収集・提供事業

(1) 国際交流・協力情報誌「SIA しーあ」の発行 [補助] [自主]

発行回数：年3回 127号（7月）、128号（11月）、129号（3月）

発行部数：2,500部／回

(2) メールマガジン「滋賀県国際交流ニュース」の配信 [自主]

発行回数：毎月1回

送信件数：416件／回

(3) インターネット・ホームページによる情報提供 [自主]

① 協会ホームページ 閲覧数：121,547（前年度 154,883）
月平均：10,128（前年度 12,906）

② S I A Facebook リーチ数：54,145（前年度 73,169）
記事投稿件数：335（前年度 328）

(4) 国際情報サロンによる情報提供 [補助] [自主]

① サロン展示事業および啓発展示

- ・ プロトコールの視点でみる国旗の世界
- ・ 滋賀県ミシガン州友好親善使節団派遣の報告

② 交流スペースの貸出 23回

③ 国際情報サロン図書等の貸出（日本語教材、国際教育教材を除く）

ア. 国旗の貸出（普通旗・卓上旗）

・ 貸出：5件、延べ14点（8か国・地域）

(5) 関連機関・団体との連携・協働による事業実施 [再掲]

- ・ 法務省大阪出入国在留管理局（在留資格相談会、合同専門家相談会）
- ・ 総務省滋賀行政監視行政相談センター（行政なんでも相談所）
- ・ 県教育委員会、市教育委員会等（進路ガイダンス等）
- ・ 県医療福祉推進課（外国人介護職員養成事業の実施協力等）
- ・ 県労働雇用政策課、テクノカレッジ米原（定住外国人向け職業訓練コース）
- ・ 日本国際協力センター（JICE）関西（外国人就労準備研修他）
- ・ 滋賀県外国人材受入サポートセンター（外国人の雇用等）
- ・ 滋賀弁護士会（法律相談）
- ・ JICA 関西（開発教育・国際教育研修の実施）
- ・ 公益財団法人 滋賀県人権センター

(6) 海外渡航の支援 [自主]

- ① 渡航相談業務 2 件
- ② 写真撮影（パスポート申請用自動証明写真機の設置）
撮影件数：11,653 件（4 月 1 日～3 月 31 日）

《 ボランティア、市民活動団体の活動促進 》

1 ボランティアの活動促進 [自主]

(1) S I A ボランティアの登録・紹介（3 月 31 日現在）

- | | |
|----------------|----------------------|
| 国際交流支援 | 登録： 77 人、紹介：1 件、1 人 |
| ホームステイ・ホームビジット | 登録： 58 人 |
| 通訳・翻訳 | 登録： 108 人、紹介：1 件、6 人 |
| 登録者数合計 | 延べ 243 人（163 人） |
- ボランティア オリエンテーション：随時
 - 関西国際交流ボランティアネットワーク会議（KIV-NET）運営委員
9 月 6 日（金）KIV-NET(関西国際交流ボランティアネットワーク)総会

(2) 災害時外国人サポーター登録制度（3 月 31 日現在）

- 登録者数：146 人（16 言語に対応） [再掲]
- 訓練および研修への参加
 - ・ 6/22 kokoka（京都市国際交流協会）防災訓練
中国語のサポーター1 人が参加 [再掲]
 - ・ 10/20 滋賀県総合防災訓練（彦根市で開催）
インドネシア語、中国語、やさしい日本語のサポーター 3 人が参加

(3) ボランティア情報の発信

メーリングリストによる情報提供：26 件
ボランティア相談対応：9 件

2 市民活動団体等活動促進事業 [自主]

(1) 滋賀県国際交流推進協議会の運営支援

参加団体：59 団体（地域協会部会 16 団体、団体部会 43 団体）

① 全体会議・部会会議

開催日：7 月 17 日（水）
会 場：ピアザ淡海
参加者：23 人

② 全体研修会

テーマ：「災害時外国人支援の「これまで」と「これから」」
講 師：田村 太郎さん（一般財団法人ダイバーシティ研究所 代表理事）
開催日：2 月 21 日（金）
会 場：ピアザ淡海（大津市）
参加者：32 人

* 「災害時外国人サポーター養成講座」、「国際交流活動推進セミナー」と共催

③ 部会合同研修会

テーマ：甲賀市多文化共生センター視察、外国人住民とのグループトーク

開催日：11月21日（木）

会場：みなくるプラザ（甲賀市）

参加者：17人

④ 運営委員会

開催回数：2回

開催日：5月17日（金）、3月19日（水）

(2) 国際交流活動推進セミナーの開催 [再掲]

2月21日（金）「災害時外国人支援の「これまで」と「これから」

参加者 32人

*「災害時外国人サポーター養成講座」、「滋賀県国際交流推進協議会全体研修会」と共催

(3) 市民活動団体等への支援

後援事業数 13件（内 協力 1件）

その他、県内の関連団体等からの相談に随時対応。

(4) JICA国際協力推進員との連携 [再掲]

JICA 国際協力推進員と連携し、国際教育事業の他、国際協力に対する県民の理解促進と支持の拡大および国際協力活動への参加促進を目的に情報発信や相談に対応した。

《 協会の基盤整備 》

1 会員および支援者の確保

会員向け事業やサービスの充実を図るとともに、講座やワークショップ開催時など各種機会において入会の案内を行った。

あわせて、来所者や国際情報サロン利用者に対して協会実施の事業や趣旨、意義について説明をすることで、会員確保に向けての啓発を行った。

*税額控除証明書を2022年11月29日に再取得。

（個人からの寄付《会費も含む》について、税額控除される法人として認定）

○ 寄附金：3件、102,646円

○ 会員数 個人会員：204人（前年度末：233人）

団体会員：86団体（前年度末：88団体）

計：290会員（前年度末：321会員）

2 協会のBCP(事業継続計画)の検証

2021年度に策定したBCP(事業継続計画)を確認するため、所内の発災後初動訓練を行った。

開催日：2月18日（火）